

緊急

うた < 詩先生のひとくちコラム >



学校医 小浦 詩

今回は輪島市でのコロナウイルス感染クラスターを受けて、緊急コラムとして発信します。前回、コロナウイルスはとってもうまいところをつく手強い相手だとお話しました。

まさに今回のクラスターはそんなコロナウイルスのもつ特徴で、なかなか避けることが難しい誰しもが当事者になりうるケースです。

無症状者が多く、発症前から感染力があり、変異してさらに感染力が強くなったコロナウイルスは、都市部を中心に感染がかなり広がっています。

家庭内と同じように、寝食を共にする密接さになりうる寮生活、部活動では、ひとたびウイルスが入ってしまったら、広がることを阻止するのは困難です。

現在、航空学園の寮で生活している学生たち、現場の制御にあたっている職員の方々はどんな不安や疲労の中にいるのかと、本当に心配しています。みなさん想像してみてください。

自分自身の体の心配、周りにうつしてしまうのではないかという恐怖
地域の人たちへの申し訳なさ、この状態はいつになったら日常に戻るのだろうか
先の見えない不安、家族と離れた心細さ

職員の方々も同様です
自分自身・自分の家族の心身の不安を感じる中
生徒たちの心と体のケアにあたっています

みなさんのお友達の中にも通学自粛中の方がいると思います
自分のきょうだい・両親の心配、学校生活から離れる不安
登校再開後はいつもの日常に戻れるだろうか……



みなさん、ぜひ想像力をもちましょう。

誰しもがそれぞれの当事者になりうる状況です。
それぞれの抱えている思いに心をよせ、日常がなるべく早く戻ってくるように支え合いましょう。

そもう一つみなさん自身ができることはやはり基本の感染対策です。
そして大人ができることは、もう一つ。ワクチン接種です。
感染対策の徹底が難しい集団(保育園、幼稚園、学校、福祉施設、介護施設)で働く人々にも優先的に接種を進めていくことも、集団を守る一つの手段かもしれません。

ワクチンに関する情報は次回詳しくお伝えします。

